

画像を活用することで進んで言葉遊びに取り組み、語彙を豊かにすることにつながる学習活動

◇国語科「たのしいな、ことばあそび」：小学校1年

◇ねらい：進んで言葉遊びに取り組み、身近なことを表す語句の量を増やすことができる。

◇ICTの活用により期待される効果

- ・学習者用端末の画面上で、課題に印を付けたり消したりすることが容易にできる。
- ・友達が考えた問題を画像化して配信することで、意欲的に課題に取り組むことができる。
- ・身近なことを表す語句の量を増やし語彙を豊かにするため、大型提示装置で共有したり、画像やイラストで確認したりしながら、言葉やその意味を確認することができる。

◇使用する機能：静止画撮影、画面共有、書き込み

◇使用するアプリ等：学習支援ソフト等



学習活動例

	活動内容	活用ポイント／留意点	
導入	<p>一斉</p> <p>前時の振り返り 課題の確認</p>	<p>1 前時の振り返り</p> <p>2 本時の課題の確認</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前時に児童が作成した問題を画像化しておく。 ・大型提示装置に問題を映し、前時に取り組んだ言葉遊びのルールや活動の手順を確認する。
	<p>課題：ともだちのもんだいにちょうせんし、ことばをみつめよう。</p>		
展開	<p>個別</p> <p>問題への取組</p>	<p>2 友達が作成した問題への取組（3×3、4×4のマス目に並んだ平仮名の中から縦、横、斜めに隠れている言葉を見付ける。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見付けた言葉に、画面上で印を付ける。 ・見付けた言葉を、ワークシートに丁寧に書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習者用端末に画像を配信し、画面上で活用できるようにする。 ・各自の画面上で手書きペンを使用して印を付けるよう指示する。
	<p>一斉</p> <p>発表</p>	<p>3 見付けた言葉の紹介</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大型提示装置で問題を共有し、見付けた言葉を確認する。 ・必要に応じて、大型提示装置で画像やイラストを提示し、言葉の意味について確認したり、理解を深めたりする。
まとめ	<p>個別</p> <p>振り返り</p>	<p>4 まとめと振り返り</p>	